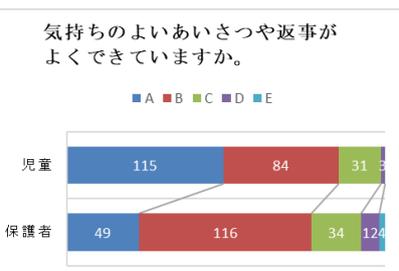
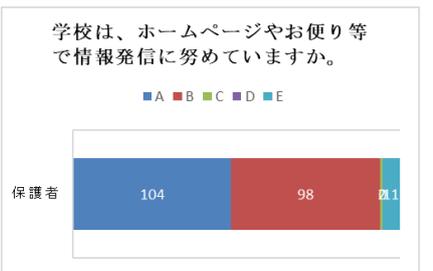
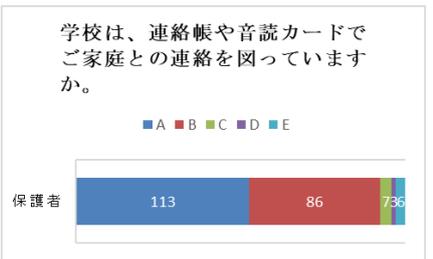
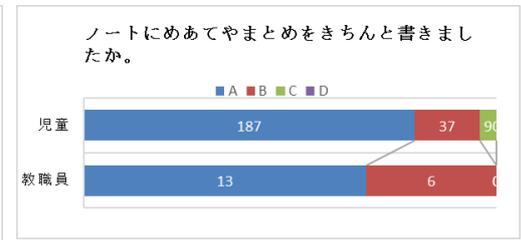
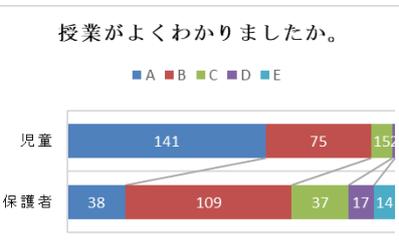
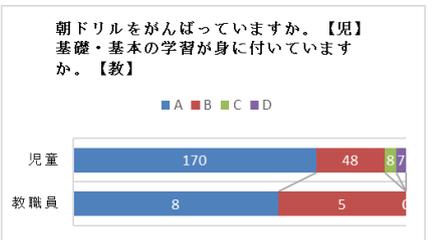
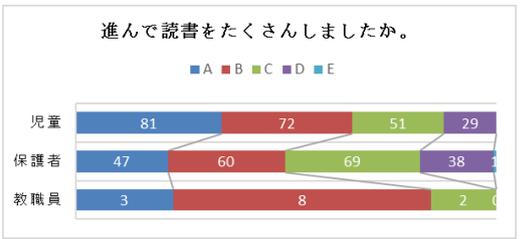
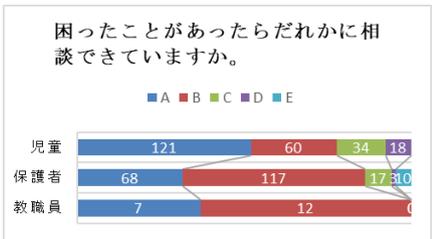
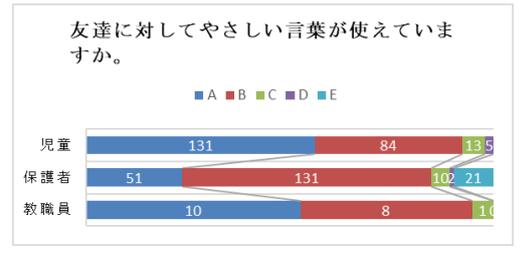
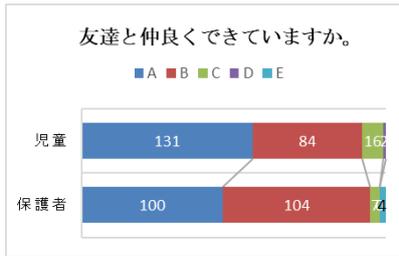
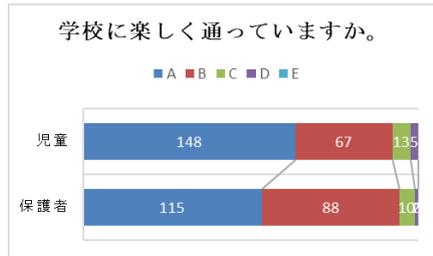
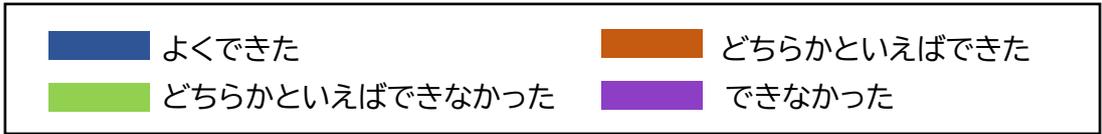
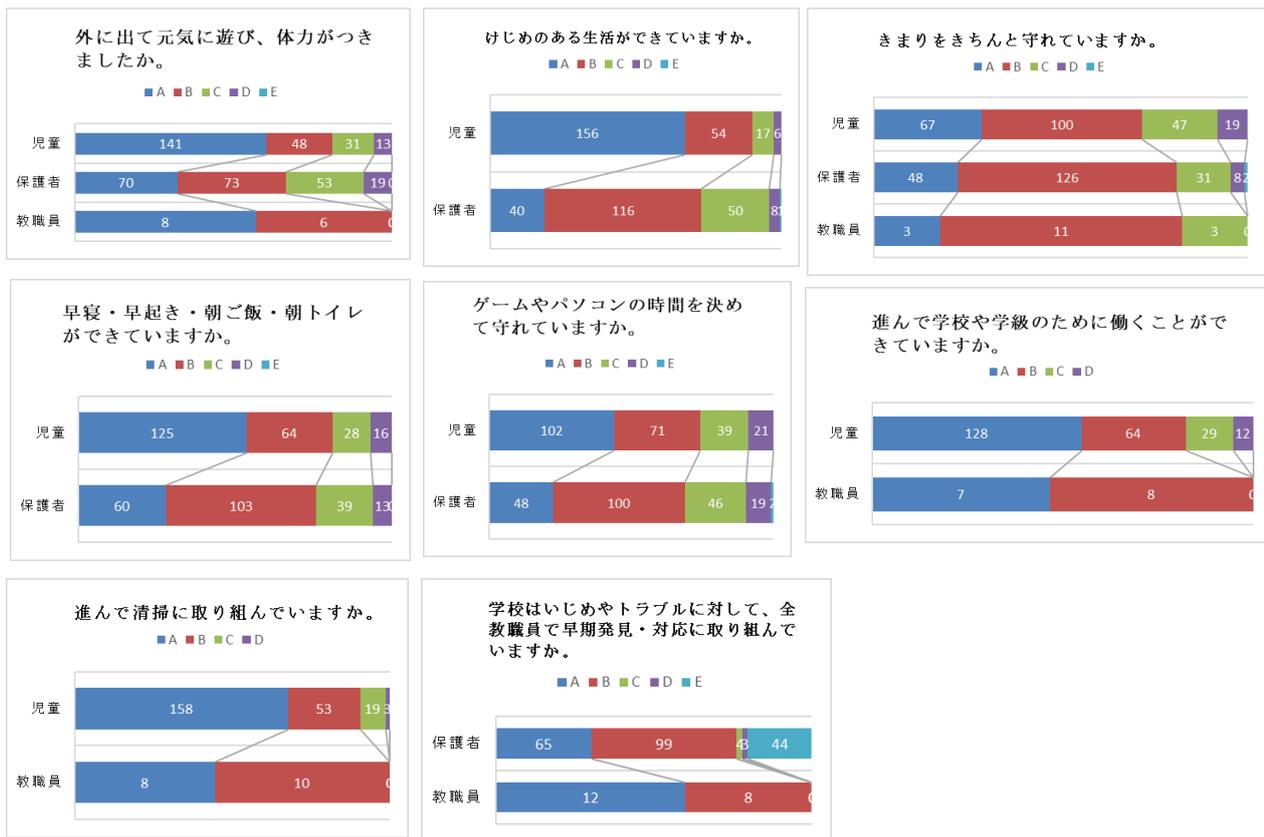


# 令和5年度学校評価結果の報告書

四国中央市立中之庄小学校

## 1 教職員による自己評価・保護者アンケート・児童アンケートの集計結果





## 2 考察

### (1) 学力に関すること

- 「授業がよくわかりましたか」の設問については、児童の肯定的な回答が引き続き高い状態を維持していて、保護者の方の中にも、児童のプラスの変化を実感されている方が増えてきている。放課後学習に参加する児童も多く、学びに対する意欲の向上も見られる。今後も放課後学習を中心にしながら、補充学習の時間を確保したり、ICTを活用したドリル問題に繰り返し取り組んだりしながら、基礎的・基本的な学習内容の定着を図っていく。
- 「学年の目標時間以上学習をしていますか」の設問については、児童・保護者ともに十分取り組めていないと感じている割合が増加している。学校からは、学年段階や児童の実態に応じた内容や量を調整して宿題を出しているが、読書や自主学習など児童が自分で選び、めあてを持って取り組めるような家庭学習の在り方を検討していく。保護者に対しては、「家庭学習の手引き」を参考に声掛けをお願いするなど協力を求めていく。

### (2) 学校生活に関すること

- 「友達と仲良くできていますか」の設問については、若干の数値の向上が見られた。感染症対応の変化により遊びの幅が広がり、友達と豊かに関わり合いながら楽しそうに遊ぶ児童の姿が多く見られるようになった。しかし、学校生活に対して不安を感じている児童や保護者の方もいるという事実を受け止め、全ての児童が楽しく安心して学校生活を送れるように、児童との信頼関係づくりやいじめ・トラブルの早期発見・早期対応、保護者との連携に引き続き努める。

## 3 保護者からの意見と学校としての対応

- メディア対応（ケーブルテレビでの放映）についてご意見があった。
  - 本校では、ケーブルテレビから学校行事等の取材申込みがあった場合にのみ、特別な場合を

除き、許可している。また、個人情報保護の観点から事前チェックを行い、放映してもらっている。

- ホームページの写真についてご意見があった。
  - 掲載する写真につきましては、プライバシーへの配慮とサーバーに負荷がかかるのを防ぐため、県が推奨するサイズ(解像度)にして掲載している。
- 学習についてのご意見があった。
  - 本校でも ICT を活用した学習に積極的に取り組んでいる。しかし、書く活動や体験活動など、児童が自分の体を使って学ぶ活動については、これまで同様大切にしていきたいと考えている。どのような場面で ICT を活用すればより効果的に児童の学習に深まりや広がりが出るのか、研究・実践を積み重ねている。ICTの良さ、アナログの良さ、双方の良さを生かした学習を展開できるよう、今後も努めていく。
- 家庭でのクロームブックの使い方についてご意見があった。
  - 現在、児童は週末にクロームブックを持ち帰り、家で課題に取り組んでいる。学校でも家でも、課題や学習に関することのみクロームブックを使うことになっていて、詳しいルールについては、担任等を通して児童に確認をしている。今後もクロームブックの正しい使い方について指導、確認を継続していく。
- 配付物のデジタル化についてご意見があった。
  - 今年度、個人懇談の希望調査や学校評価アンケートで Google フォームを活用するなど、保護者の方と連携するツールとして ICT を活用した。今後の予定としましては、2月をめぐりに学校ホームページ内に保護者専用ページを設け、情報の送受信等に活用する予定である。紙媒体の良さもあるので、今後もデジタルとアナログそれぞれの良さを模索し、情報発信や配付に努める。
- 服装の規定についてのご意見があった。
  - 児童が学習に集中しやすい環境をつくるという観点で、頭髪や服装、持ち物等のルールを決めている。しかし、配慮が必要な場合には、保護者の皆様と相談して対応を検討している。保護者からの希望が多い事項については、今後 PTA 役員会等を通して、検討していく。規程等に変更がある場合には、学年便り等を通して、随時お知らせする。

#### 4 学校関係者評価の集計結果

	項 目	評価 (4点中)
1	学校の教育目標の達成に向けて具体的な目標を設定し、校長を中心に組織的に学校運営や教育活動を行っているか。	3.66
2	自己評価結果を分析して具体的な改善方策を実施し、課題が改善されているか。	3.58
3	教育活動や評価結果に対して、分かりやすく情報提供できているか。	3.83
4	保護者、地域住民は、学校運営に積極的に参加・協力しているか。	3.25

5	学校運営協議会は、適切に運営されているか。	3.66
6	教職員は、生き生きと意欲的で、いじめのない明るい学校づくりに取り組んでいるか。	3.75
7	児童の健全育成、生活習慣の確立に向けて適切に取り組んでいるか。	3.5
8	学校は、安全で安心な学校づくりを進めているか。	3.58

## 5 学校運営協議会委員からの改善意見

- 朝の挨拶が元気な声のできる児童を増やしてほしい。登校班の班長、副班長の意識を高めることで、班全体の挨拶が向上すると感じる。
- P T Aの各部会や参観日の後の懇談会などに自主的に活動できるように、P T A役員を活用して呼び掛けを行うと良い。
- 「中之庄っ子応援隊」のメンバーを活用して、学校の取組に協力してもらえると良い。
- 放課後学習や教育相談など、一人一人の児童と向き合う時間の確保に努めている姿が保護者の信頼を得ることにつながると思うので、これからも継続してほしい。

## 6 次年度に向けての改善方策

- (1) 学習・学力に関すること
  - ・ 標準学力調査の分析結果等を活用し、各教科、各単元で課題となっている力を向上するための指導について共通理解を行い、授業づくりを進める。また、学力の二極化を広げないためにも、放課後学習を行い、学力の底上げを図っていく。
  - ・ chromebook の持ち帰りの頻度を増やし、自主的に苦手な学習に取り組むなどの習慣を付ける。授業においては、I C Tを活用した指導と従来の指導法とのベストミックスを図る。
  - ・ 学校図書館の計画的な利用と蔵書の充実を図り、読書の習慣づくりを推進する。
- (2) 生活(人間関係づくり・学校安全等)に関すること
  - ・ 支援会議で今年度の支援や指導についての成果や課題をまとめ、次年度への引継ぎを確実に行うようにする。
  - ・ なかよし遊びを計画的に実施し、学級や学年を超えて、様々な人と関わる機会を大切にしてい、仲間づくりを進めていく。また、「かがやき集会」などを通して、豊かな感性や道徳性を育てていく。
  - ・ 児童の命に関わるアレルギー対応がスムーズに行えるように、各担当が確実に役割を果たし、報告や連絡を密に連携する。
- (3) 家庭・地域との連携に関すること
  - ・ コミュニティ・スクールの利点を生かし、学校・家庭・地域が一体となった学校運営を行う。
  - ・ 不登校傾向にある児童に対しては、担任を中心として、管理職や養護教諭や心の相談員など様々な立場から支援を行うことで、保護者からの信頼と安心を構築していく。
  - ・ 三島西中学校との連携を更に強化し、9年間を見通した教育活動を進める。